

第 2 回 四総信海外視察研修を実施しました！

四総信にて第 2 回海外視察研修(台湾)を実施しました。平成 26 年 7 月 8 日(火)～12 日(土)までの間、母体銀行の優績者(平成 25 年度下期四総信保証付ローン獲得優績者 20 名)を対象に現地視察の他、大和国泰証券股份有限公司訪問および損保ジャパン日本興亜インシュランス(台湾)ブローカーズ(株)の講師を招いての研修を開催しました。

大和国泰証券股份有限公司を訪問

「台湾経済について」についての講和(一部抜粋)

① 台湾企業について

台湾企業は相手先ブランドの受託生産によって成長してきた為、自社ブランド展開に弱い企業が多い。しかし、技術面においては世界トップクラスの技術を有しており、電子機器部品や自転車、靴、釣り具といった分野で世界トップシェアを誇っている。

② 台湾の銀行について(中国信託商業銀行)

台湾の国内銀行の総資産上位 5 社は政府系が株を保有。総資産第 6 位の中国信託商業銀行は平成 25 年に静岡銀行と業務提携以降、日本の地銀を中心に 19 行と提携し、今年 6 月には東京スター銀行を完全子会社化した。

③ 台湾の貿易関係

以前は貿易相手国として日本はアメリカに次いで二番手の比重を占めていたが、近年中国が飛躍的に増大し国外投資も盛んに行なわれており、現在 5 万社を超える台湾企業が中国に進出している。

大和国泰証券股份有限公司の視察風景



損保ジャパン日本興亜インシュランス(台湾)ブローカーズ(株)の講師を招いての研修風景



損保ジャパン日本興亜インシュランス

(台湾)ブローカーズ(株)による講話

「台湾における損害保険マーケット」についての講和(一部抜粋)

① 「保険ブローカー」とは

保険ブローカーとは、保険会社の代理人として保険募集を行ういわゆる「代理店」に対し、顧客の指名を受けて各種保険の設計を行うと共に、保険会社と保証内容・保証料等の交渉を行い、顧客にとってより良い商品を提供することが主な業務である。

② 台湾マーケットの特徴

日本と同じく台湾も地震被害、台風被害の多い国である。また、自然災害に加え IT 産業の集中による集積損害リスクも高い。過去 15 年の平均損害率は約 56%と損害率は安定している。

参加者の感想

- ・大変有意義な経験ができたと感じています。企業訪問においては、現地に駐在勤務されている方のお話をお聞きする中で、金融業界においても国民性を反映した営業活動が行われている点が印象に残りました。今回得た貴重な体験を糧にし、営業活動に邁進していきたいです。
- ・海外研修に参加して、外国と日本といった大きな枠組みで経済を比較する機会が持てました。
- ・今回、台湾の視察研修をさせて頂き非常に勉強になりました。国全体がエネルギッシュであり、経済活動も伸びている様子が肌で感じられます。国民全体が投資意識が高く、保守的な日本と違いビジネスチャンスが多い反面、リスクも大きく浮き沈みが激しいと感じました。

次回の海外研修の実施について

平成 26 年度上期も同様に母体銀行の優績者(四総信保証付ローン優績者)を対象に海外視察研修を実施いたします。